

[制作記録]

アナムーキューブ

— 再生素材を利用した仮設展示ブース —

鈴木康雄

「アナザー・ムーブメント」は年一回金沢市内で開催され、2005年で五回を数えます。作家とボランティアスタッフが運営するインディペンデントのアートイベントであり、市内15か所の個展会場を回遊するスタンプラリー形式も、会場となる店舗や遠方からの観客に対して徐々に定着してきました。また近年参加作家も国際化し、その規模や集客数に加え、メディアの注目度においても年々成長を続けています。

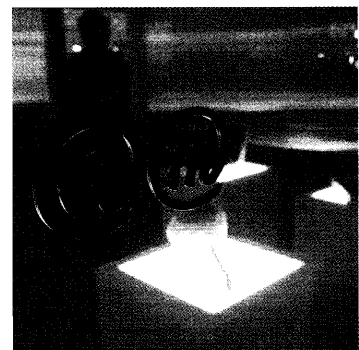
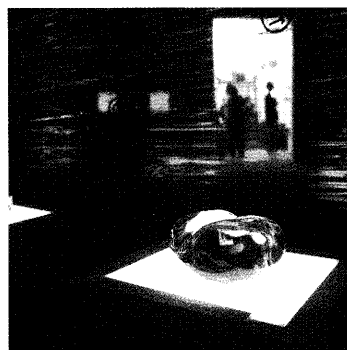
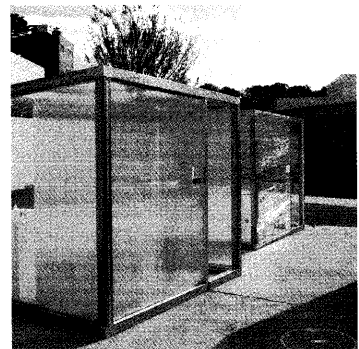
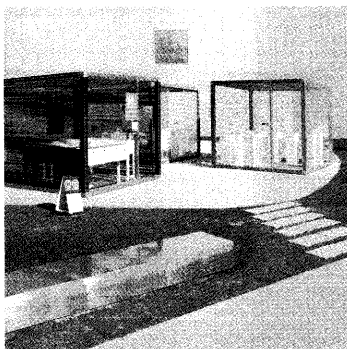
2004年秋、金沢21世紀美術館オープンに合わせての開催で、同館敷地内に企画、制作したインフォメーションブースは、低コストと素材のリサイクルを実現するとともに、同館オープニング時の雑多な空間にランドマーク的役割を果たすことにも成功しました。

仮設空間とは言え、世界的に注目を集める美術館のオープニングにふさわしいプロポーションと配置を追求しつつ、斬新な素材感を両立させるための実験と検証を行い、秋の不安定な天候にも対応可能なものとして制作を試みました。

少人数での運搬、設置と分解が容易で無駄を省いたフォルムに強度を兼ね備えるため、鉄製の角パイプを構造材とし、屋根にはプラ段ボール、壁面材にはポリカーボネートボードとポリエチレンラップ、ロープなどを複合的に用いることで、昼夜に渡り多様な表情を見せる空間表現が実現したと考えています。

設置期間：2004年10月8日～10月17日

(すずき・やすお 視覚デザイン)





制作協力：2004アナザー・ムーブメント実行委員会 撮影：池田ひらく氏